



2020(仏暦2563)年 秋号 (第111号)

万行寺報

Mangyoji Jihō

発行
浄土真宗本願寺派 万行寺
住職 山崎信充
〒385-0003
長野県佐久市下平尾4 6 1 - 1
電話 0267-67-2460



Photo

コスモス、稲穂と、景色もあつという間に秋色に染まってきました。そろそろ冬支度が始まります。季節の流れ、一年は早いものです。

年忌法要表

1 周忌	2019(令和 1)年	23 回忌	1998(平成10)年
3 回忌	2018(平成30)年	25 回忌	1996(平成 8)年
7 回忌	2014(平成26)年	27 回忌	1994(平成 6)年
13 回忌	2008(平成20)年	33 回忌	1988(昭和63)年
17 回忌	2004(平成16)年	50 回忌	1971(昭和46)年

住職 法話

「コロナ禍」を過ぐす

何よりも、去年から今年に

かけて、老若男女を問わず多くの人が亡くなったことは、本当に悲しいことです。けれども、命あるものは必ず死ぬという無常の道理は、すでに釈尊が詳しくお説きになつて居るので、驚かれるようなことではありません。わたし自身としては、どのような臨終を迎えようともその善し悪しは問題になりません。信心が定まった人は、本願を疑う心がないので正定聚の位に定まっています。ですからこそ愚かでも智慧のないわたしたちであっても尊い臨終を迎えるのです。

(親鸞聖人御消息)

近頃、たいそう多くの人が伝染病にかかって亡くなっております。これは決して、伝染病によって初めて死んでいくのではない。生まれたときから必ず死んでいく命を生きているのであり、定めというものである。さほど驚くべきことではありません。そうではあります、今の時分にあたって死にますと、きつと伝染病によつて死んだに違いないというように人はみな思うものです。これももつともなことでありましょう。(中略)このような時こそ、いよいよ阿弥陀仏をたのみ、極楽に往生するに違いないと思ひ

を定め、一向一心に弥陀を尊び、疑うところを持つてはなりません。このように心得たならば、寝てもさめても南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏と念仏申すのは、私たちをたやすくおたすけくださる御ありがたさ、御うれしさを申し上げる御礼のころなのです。これをすなわち仏恩報謝の念仏といふのです。

(蓮如上人「御文章」疫癘の章)

コロナ禍に悩まされる日々が続いていますが、親鸞さまも蓮如さまも疫病で多くの人が亡くなっていく現実を目の当たりにされていました。度々、疫病の歴史は繰り返されてきていて、今日がある

という見方も出来るでしょう。お二方とも、お釈迦さまの無常の道理をあげられ、「驚くことではない」と言われ、弥陀の救いに疑いのころを持つてはならない、信心が大切ですと仰せになります。

現代の様々な科学や医学を駆使して、コロナ禍はいずれおさまっていくことでしょう。ですから、疫病が無くなるようにと仏さまに祈るようなことではありません。親鸞さまと蓮如さまのお言葉は、当時の多くのご門徒の生きる指針となつたのではないのでしょうか。私たちを元気づけるお言葉です。



浄土真宗

④ 仏事のイロハ

一、お仏壇のお飾り

— 仏さまを仰ぐ —

「仏花の意味」

花は輝くいのちを表す！

「ご承知のように、花は万人が愛すると同時に、生活に潤いをもたらしてくれます。床の間の生花に心が和み、野草花に心洗われる方も多いことでしょう。また、その可憐な美しさは病人の沈みがちな心を慰め、結婚式では文字通り「花嫁」に花を添えます。

このように誰からも喜ばれる花ですから、敬愛や感謝の代弁者ともなります。表彰式や発表会で花束が贈られたり



ファンが舞台上のスターに捧げたりします。こうして見てきますと、心から敬う仏さまに花をお供えするのも、ごく自然な行為だと言えるのではないのでしょうか。すなわち、仏花を供えるのは仏さまのお徳を讃え、その「ご恩」に感謝する気持ちの表れなのです。

しかし、ただ単にこちらの気持ちを表すだけではないの

がお仏壇のお飾りです。もしそれだけなら、自分が供えた花にもかわらず、花の向きが仏さまの方を向かずに、私の方に向けられている説明がつきません。これは前の「一口ソクの火」と同じことで、私が供えた花はそのまま私に注がれている仏さまのお心を表しているという意味からです。

阿彌陀仏は無量寿仏とも申され、はかりなきいのちの仏さまです。短い一生にもかかわらず、そのいのちを精いっぱい輝かし咲いている花を通して、すべてを生かし育んでくださる仏さまのいのちに触れさせていただきましょう。

また、浄土は妙なる花々に包まれたところですから、みずみずしく清らかな花に接して浄土を想い、素直な気持ちにな

って仏さまの慈悲のお心を味わわせていただきたいものです。

なお、仏花の種類ですが、以上のことから、造花はふさわしくないことがわかりましょう。庭先の花でもけっとうですから、四季おりおりの生花を、心を込めてお供えしてください。ただし、毒花やトゲのある花、悪臭を放つ花などは避け、悲しみの時は通常、赤い花は遠慮します。

ポイント

- ▼ 仏花は仏さまのお徳を讃え、ご恩に感謝する気持ちで供える
- ▼ 毒花、トゲ、悪臭の花は避ける
- ▼ 悲しみの時は赤い花を避ける

「浄土真宗 ④ 仏事のイロハ」 末本弘然著／本願寺出版社刊より

～本願寺の本～

「日めくり 歎異抄 現代のことばで味わう」

小池秀章/白石光祐(書)

本願寺出版社 発行 1,000円+税

『歎異抄』とともに過ごす、法味あふれる日暮らし。

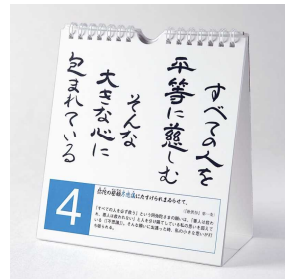
浄土真宗の真髓が記された『歎異抄』のころを、独自の視点で31の言葉に書き下ろした。

心の支えとなる言葉に、毎日出遇えるカレンダー。

31日分(16枚綴)。縦210mm×横155mm。

卓上・壁掛兼用。透明PP袋にて個別包装。

(本願寺出版社ホームページより)



お知らせ

毎年、10月最終日曜日に開催の「報恩講法要」は、誠に残念ですが本年はご参集を中止とさせていただきます。狭い部屋で密になってしまうことが理由です。

10/25(日)、当日は寺族のみでお勤め致します。

編集後記

今は感染症という言い方が広まっていますが、「住職法話」にもある疫病という言い方が昔からあります。この「疫」という字は、「役」という字が語源で、否応なく振り分けられる仕事という意味からきているようです。否応なく誰もが感染する病ということでしょう。◆米国トランプ大統領の感染が報じられました。マスクをしなかったり感染のリスクというものを考えようとせず、何か元の社会に戻そうと必死な姿が窺えます。◆ウイルスも変異しながら生き残っています。人間も順応して生活様式を変えようという見方が出来ないでしょうか。